

# 地球温暖化対策(カーボンニュートラル) への取り組みについて

2022/11/25  
鈴豊精鋼株式会社

# 基本方針

## ○ 地球温暖化対策の推進に関する方針

### 【環境方針】

私たちは、環境への影響を配慮し、汚染予防・資源の有効利用を実施し、豊かな地域社会の発展に貢献します。

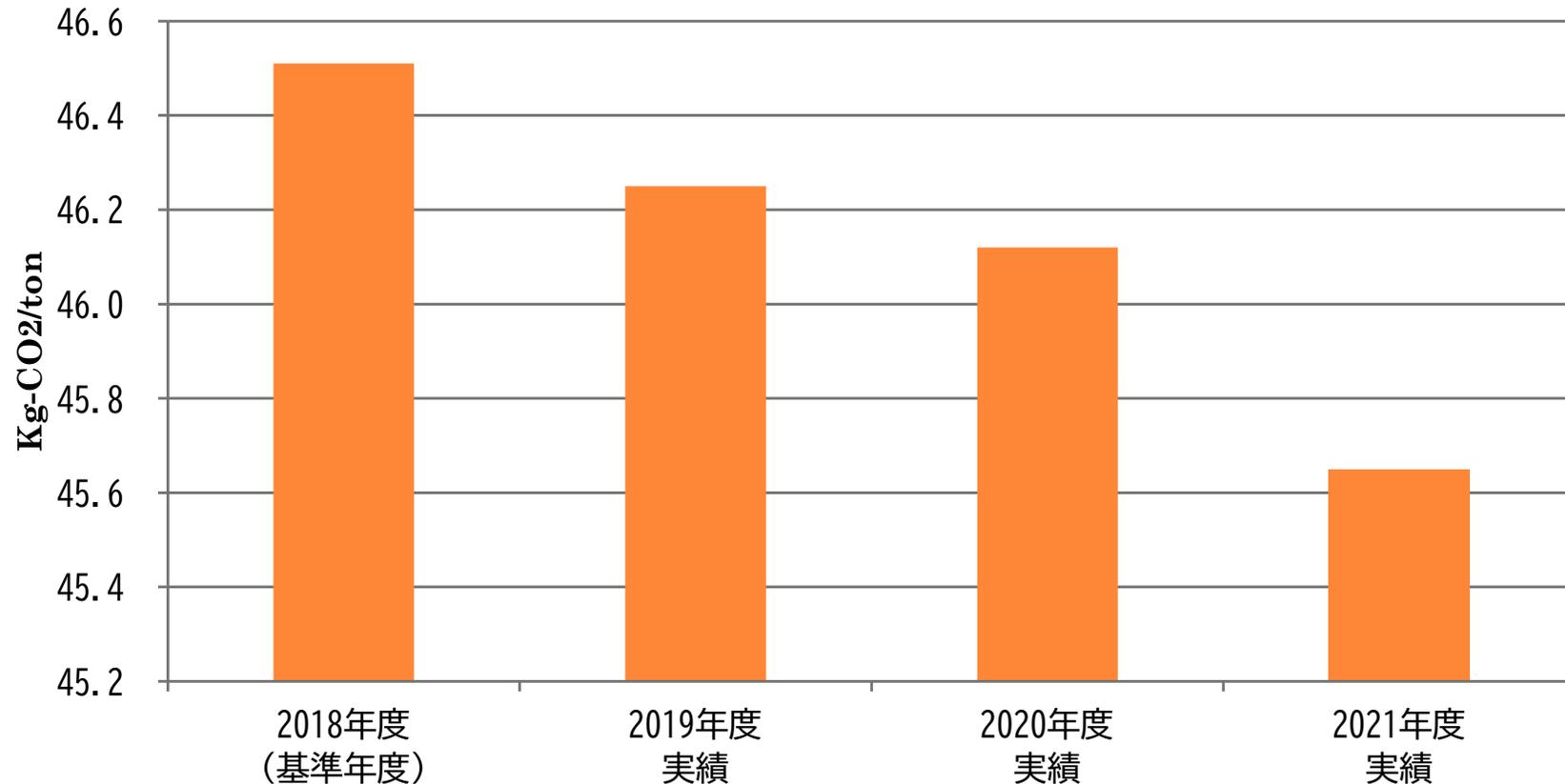
### 【3か年目標値】

温室効果ガスを前年度比1%削減を目標に掲げます。

1. 事業活動に即応した環境目的・方針を定めその実現を図り定期的な見直しをすることにより、継続的な環境マネジメントシステムの向上と環境成果の評価を行う
2. 環境目的・環境目標を定め、全社員への環境教育を徹底し、環境保全活動への意識向上を図る
3. 環境に関連する法規制、条例、協定等を順守し、環境保全に努める(緑化)
4. 事業活動のあらゆる面で、環境保全を図るため、以下の項目については重点的に推進する
  - (1)温室効果ガスを前年度比1%削減(原単位計算)を目標、3年間で3%削減(原単位計算)する
  - (2)省エネルギー・省資源行動の実践(省エネルギー設備更新・冷暖房・OA機器・照明)
  - (3)廃棄物の排出抑制・リサイクルを図る
  - (4)自動車等輸送機関に関する対策(アイドリングストップ・エコドライブ)、低公害車の導入を推進する
  - (5)“再生可能エネルギー利用”を計画⇒導入⇒推進し、“化石エネルギー利用”を段階的に減少させる(2022/11追記)
5. 環境方針及び活動は毎年定期的に見直しを行い、環境目的・環境目標に反映させ、継続的改善を図る

# 温室効果ガス排出量抑制状況

温室効果ガスの排出量 (原単位 目標:44.47kg-CO<sub>2</sub>/ton)



※原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量を言います。

※2019～2021年は“新型コロナウイルス”により大幅な減産を余儀なくされ、各設備とも生産効率に多大な影響を及ぼしたものの、「各種エネルギー使用合理化活動」により、基準年度(2018年)比“1.85%削減”となった

# 環境負荷低減における取組状況事例

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目的	取組の実施状況
省エネルギー・省資源活動の実践 【工場内設備】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既設トランスを高効率変圧器に更新する</li> <li>・コンプレッサーを集中制御へ変更する</li> <li>・設備用モーターの効率を向上させる</li> <li>・熱処理炉の熱エネルギー効率を向上させる</li> <li>・照明設備を省エネタイプへ更新する</li> <li>・高効率ボイラーへ更新し熱効率を向上させる</li> <li>・自動販売機を『カーボンニュートラル化』する</li> <li>・太陽光発電設備を導入する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受電/変電ロスの削減</li> <li>・コンプレッサー効率向上</li> <li>・モーター電力削減</li> <li>・熱エネルギーロスの削減</li> <li>・熱エネルギーの有効利用</li> <li>・電力使用量の削減</li> <li>・LNG使用量の削減</li> </ul> ⇒カーボンニュートラルへの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率変圧器に順次更新した</li> <li>・コンプレッサー台数制御システムを順次展開している</li> <li>・設備用モーターを順次インバータ化している</li> <li>・省エネ熱処理炉に更新した</li> <li>・窓ガラスへ断熱フィルムを採用した</li> <li>・照明をLEDに順次更新している</li> <li>・高効率ボイラーへ更新した</li> <li>・カーボンニュートラル証明自販機を導入した</li> </ul>
省エネルギー・省資源活動の実践 【OA機器】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン使用後は本体の電源だけではなく、モニタの電源も切る</li> <li>・パソコン使用時のモニタ電源を10分後に切れるように設定する</li> <li>・コピー機の省エネモードの時間設定を30分とする</li> </ul>	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内サーバの台数を17台から13台に減らしOA機器の電力削減にも取り組んだ</li> </ul>
省エネルギー・省資源活動の実践 【冷暖房・照明】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン設定温度を冷房使用時28℃暖房使用時20℃を徹底する。</li> <li>・全体照明から個別照明へ変更する</li> <li>・工場建屋に“明り取り”を採用し、照明効率をアップさせる</li> </ul>	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所のエアコンを省エネタイプに更新した</li> <li>・個別照明に変更し、不必要箇所は消灯している</li> <li>・明り取りにより照度を確保(B～F工場)</li> <li>・事務所照明のLED化完了</li> </ul>
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみを環境管理システムに基づき分類・回収し、リサイクルが容易になるようにする。</li> <li>・社内に持ち込んだ個人のごみは社内で捨てずに持ち帰る</li> <li>・裏紙も利用しコピー用紙を削減する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル率の向上</li> <li>・廃棄物の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理システムに基づき分別しリサイクルに心がけ、継続して廃棄物削減に取り組んでいる</li> </ul>
自動車等運送機関に関する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急発進や急加速をしない、アイドリングストップ・エコドライブを徹底する</li> <li>・WEB会議を有効に活用する</li> <li>・低公害車を選定する</li> <li>・電気フォークリフトを導入する</li> </ul>	環境負荷物質排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低公害車を4台導入した。</li> <li>・電気フォークリフトを2台導入した</li> <li>・WEB会議が定着した</li> </ul>

## その他地球温暖化対策に係る措置

- 工場内緑化活動・・・植樹・保護(緑化率拡大)
- 熱処理炉排気ガス適正管理(燃焼条件の監視)
- ボイラー排気ガス適正管理 ( // )
- 裏紙利用による紙使用量の削減
- 分別ボックス設置及び分別基準の設定による古紙のリサイクル
- 電子共有フォルダの利用による紙使用量の削減
- 構内設置自動販売機のカーボンニュートラル取組推進(非化石証明又はJ-クレジット制度利用)(2022/11追記)
- 太陽光発電設備導入の検討と計画/実施(2022/11追記)
- その他再生可能エネルギーの絞り込みと活用(2022/11追記)